

第2回（平成26年度）苫小牧市スポーツ推進審議会 議事録

日 時	平成27年3月23日（月） 18:00～19:00
場 所	市役所5階 第2応接室
出席委員	岩井委員、大村委員、川村委員、斎野委員、島崎委員、須藤委員、 田中委員、長岡委員、中村委員、本間委員、前田委員、丸山委員 （敬称略、五十音順）
事 務 局	総合政策部 スポーツ推進室
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 総合政策部長挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>（1）「苫小牧市民の運動・スポーツ活動実態調査」の結果報告について</p> <p>ア 苫小牧市民の運動・スポーツ活動実態調査 集計結果〔資料1〕</p> <p>イ 調査結果の報告（苫小牧駒澤大学より報告）〔資料2〕</p> <p>（2）苫小牧市スポーツ推進計画の構成素案について〔資料3〕</p> <p>4 その他</p> <p>平成27年度のスポーツ関連予算と主な事業について〔資料4〕</p> <p>5 閉会</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>定刻となりました。委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>ただいまから「第2回 苫小牧市スポーツ推進審議会」を開催いたします。続きまして、総合政策部長の佐々木よりご挨拶申し上げます。</p>
佐々木部長	<p>本日はご多忙の中、2回目となります苫小牧市スポーツ推進審議会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本市では、平成28年度にスポーツ都市宣言の50周年を控えており、昨年には新ときわスケートセンターをオープンし、この春には、全天候型に改修を終えた陸上競技場のオープンを予定しております。</p> <p>また、新年度の事業としましては、緑ヶ丘野球場や庭球場の大きな改修も予定しており、50周年に向けてスポーツ環境を整えているところでございます。</p> <p>そのような中、このスポーツ推進審議会を設置いたしまして、様々な分野から12名の委員の皆様には本市のスポーツに関する重要事項を調査・審議するために、お集まりいただいている訳でございます。</p> <p>スポーツに関する重要事項と言いましても、非常に幅広く、これから様々な事が議題にあげられる事になるかと思いますが、当面のテーマといたしましては、スポーツ都市宣言50周年に向けた「スポーツ推進計画」の策定がでございます。</p> <p>本日の議題の中にも、スポーツ推進計画の策定に向けて行いましたアンケート調査の報告がでございます。アンケートの集計や分析におきましては、本審議会の丸山会長のもと、学生さんをはじめとした苫小牧駒澤大学の皆様のご多大なるご協力を賜りました。この場をお借りしまして心より感謝申し上げます。</p> <p>また、委員の皆様方には、スポーツ推進計画の策定をはじめ、本市の運動・スポーツ施策全般について、様々な視点から忌たんの無いご意見をいただき、スポーツを通したまちづくりにご尽力いただくことをお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。</p>

事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>なお、部長は公務のため、ここで退席します。</p> <p>続きまして、前回都合により欠席されました中村委員から自己紹介をお願いいたします。</p> <p>＝ 中村委員自己紹介 ＝</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ここで会議の成立についてご報告いたします。</p> <p>本日は、委員12人中、12人が出席されております。過半数以上の出席でございますので、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、これより議事に入らせていただきますが、審議会条例の第4条第3項に従いまして、丸山会長に議長をお願いいたします。</p> <p>丸山会長、お願いします。</p>
丸山会長	<p>では、ここから私が進行をさせていただきます。</p> <p>早速ですが、次第3の議事に入ります。</p> <p>(1)「苫小牧市民の運動・スポーツ活動実態調査」の結果報告について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>まず、配付資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 苫小牧市民の運動・スポーツ活動実態調査 集計結果 ・資料2 調査結果の報告 <p>以上の資料はお手元にありますでしょうか。</p> <p>それでは、調査結果の報告になりますが、この調査は住民基本台帳から無作為に抽出した、18歳以上の市民3,000人を対象にしており、12月中旬から1月中旬までの期間で実施しております。</p> <p>結果報告につきましては、調査協力者として大変ご尽力いただきました丸山会長をはじめとする苫小牧駒澤大学の皆様から報告をしていただきます。</p> <p>よろしくお願い致します。</p>
苫小牧駒澤大学 (丸山会長)	<p>それではお手元にあります、資料2の調査結果の報告をご覧ください。まず、回答状況ですが、3,000部のアンケート送付のうち回答されたのは947部でした。そのうち、回答状況が不明、未回答のものが45部ありましたので、有効回答数は902部、回答率は30.1%という状況になっております。</p> <p>そのうち、男性の40代～70代の回答数が546部と全体の約60%を占める結果となりました。ですので、結果に若干偏りが出ている状況ですのでこれらを加味して聞いてくださればと思います。</p>

<p>苦小牧駒澤 大学 (丸山会長)</p>	<p>また、全ての質問項目は説明いたしませんので、全体の結果は資料1集計結果をご参照いただき、本日は大きく分けた9つの項目でそれぞれ報告をさせていただきます。</p> <p>それでは調査報告の「1 運動・スポーツの実施状況」をご覧ください。</p> <p>こちらの結果として、健康・体力への自信の揺らぎが出てくるのが60代～70代となっております。また、男性の40代～50台、女性30代の運動日数が少なくなっている傾向から、仕事や子育ての世代であることがわかります。</p> <p>次に「2 氷上スポーツ」についての結果です。</p> <p>これは「スケートのまち」と呼ばれることについてですが、60代以降を中心に概ね高い支持率を受けております。それに伴い、30年前はもっと盛り上がっていた、現在は釧路に圧されているなどの意見もございました。</p> <p>また、ホッケークラブ数の減少や、青少年の育成が出来ていない、施設の一般滑走の時間が少ないなどの意見もありました。</p> <p>次に「3 地域の運動・スポーツ活動」についての結果です。</p> <p>地域のスポーツ活動に携わったのは、4分の1程度という結果になっております。地域のスポーツ活動振興に期待するものとしては、60代以降で「高齢者の生きがいづくり」が多く、「地域の活性化」「子どもの体力づくり」を選択したのは30代～40代男女に集中している結果となりました。</p> <p>次に「4 スポーツボランティア」についての結果です。</p> <p>全体のボランティアの参加率は10%程度となっております。参加する動機づけについては、「好きなスポーツの普及・支援」「出会い、交流の場」「社会貢献」の理由が大きくなっている状況です。</p> <p>次に「スポーツに関する情報」についてです。</p> <p>これは各年代での興味のある情報トップ3を表にしたものです。</p> <p>男性に関しては、大会、試合の情報であったり、施設利用の情報が求められる傾向にあります。</p> <p>女性についても全体として施設利用についての情報の希望が多くありました。その中で、女性の40代以降は初心者向けの教室・イベントの情報が求められる傾向がありました。</p> <p>また、こういった情報の獲得媒体は何かという質問ですが、20代～40代に関しては圧倒的にインターネットが多く、50代以降は新聞や市広報で情報を得ている傾向が多いです。</p> <p>次に「6 スポーツ観戦」についてです。</p> <p>体が不自由になる傾向のある80代～90代以外は、スポーツ観戦への興味は強い傾向がありました。その中で、やはりプロ野球がダントツで多く、アイスホッケーも人気であり、30代～40代に関してはサッカーやバスケットボールへ</p>
--------------------------------	--

<p>苦小牧駒澤 大学 (丸山会長)</p>	<p>の観戦の興味が強い傾向にあります。</p> <p>次に「7 苦小牧市のスポーツ施設」についてです。</p> <p>施設の利用度として、男性 20 代～40 代、女性の 20 代～30 代の施設利用度が高い傾向となりました。また、利用理由については自宅から近いことや料金が安いことが利用理由のトップに上げられています。</p> <p>市営スポーツ施設に求められることについては、男性 20 代～40 代で特に「利用時間帯の拡大」が大きく、これは勤務時間帯後の利用希望からくるものかと類推できます。</p> <p>また、男女の 20 代～40 代で「アフタースポーツ施設の充実」が多く、スポーツ後のシャワー施設の整備であったり、レストランなどの設備の希望がありました。</p> <p>また、先程もありましたが、女性中心に「初心者向けの教室・行事の充実」を求める声も多くありました。</p> <p>最後に「8 苦小牧市のスポーツ施策」についてです。</p> <p>スポーツ都市宣言の認知については約半分、内容については 3 割弱の認知と詳しくは知られていない状況が見られます。</p> <p>全年代で「スポーツ施設」「気軽に参加できるイベント」の充実といった施策、「プロスポーツに接する機会」「子どもの頃からスポーツに親しむ機会」の充実などが挙げられています。次代を見据えた要望が 20 代～50 代男女を中心に多くありました。</p> <p>今後、今回の集計を見直しながらスポーツ推進計画を作成していくわけですが、調査報告をした中で何点か提言がございます。</p> <p>1 つ目にアンケート対象年齢の再検討ということで、ご高齢の方に関しては全ての質問項目に答えられない、私たちに聞いてもしょうがないんじゃないかという書き込みがある、または家族の方から送り返されている状況もあったことから年代をもう少し絞ってもいいのではないかと感じています。</p> <p>2 つ目は実施方法の再検討ということで、多くの市民に回答いただくために、WEB 上でのアンケート実施も視野にいれてはどうかと思います。WEB 上で実施することで、集計業務の軽減化も図れるのではないかと思います。</p> <p>3 つ目は質問項目の整理・簡略化ということで、質問項目が多い、類似質問が多いという意見も多くありましたので改善できる箇所はしていく必要があると思います。</p> <p>また、今回まとめきれっていない書き込まれた個々のご意見はもう一度整理していく必要があると感じています。</p> <p>調査結果については以上になります。</p> <p>何かご質問、意見等はございますでしょうか。</p>
--------------------------------	--

事務局	<p>項目7のスポーツ施設に求めることの中に利用時間の拡大がありましたが、市のスポーツ施設は現在9時まで、リンクに関してはもう少し遅い状況となっております。多くの市民の方にスポーツを楽しんで頂ける状況を提供することは今後の課題と感じています。宮の森スポーツクラブ様の方で特に夜の時間帯での利用状況、工夫されている点などありましたらお聞かせ願います。</p>
川村委員	<p>曜日によって違いますが、火曜、木曜、金曜は23時までのクラスがあり、各日20名ほど利用されている状況です。やはり20時台の利用が多く、18時台のスタートでは若干早いとお声もいただいている状況です。</p> <p>やはり、お仕事が終わられて、夕食を食べてからの利用が多いかと思います。</p>
中村委員	<p>22時台になると、やはり男性の利用が多い状況なのでしょうか。</p> <p>また、こういった年齢層が多いのですか。</p>
川村委員	<p>22時台になると8割が男性の利用状況が多く、18時台は女性も若干利用されている状況です。</p> <p>年齢層は幅広く利用されている状況になっています。</p>
中村委員	<p>アンケートの回答状況を見ると、女性の回答状況が少ないですね。若いお母さんたちはやはり子育てでスポーツができていない状況なんですね。</p>
斎野委員	<p>アンケートの送付は男性、女性どれくらいの割合なのか。</p> <p>また、苫小牧市は女性人口が多いはずなので、もっと女性の回答数が多くても良いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>18歳以上の市民へ無作為に送っているためアンケート送付の男女比は現在把握していない。また、家族間の重複を避けるために、世帯主に送付しており、男性への送付が多くなっているかと思います。</p>
斎野委員	<p>それでは女性の回答数が少なくなるのは当然のことなので、女性のデータはあまり参考にならないかと思いますね。初めから男性に聞いているようなものなので、これは改善が必要かもしれないですね。</p>

丸山会長	確かに女性特有のご意見は、今後もっと必要になってくるかと思います。
本間副会長	リンク施設の利用というところですが、実際はリンクの練習枠が取れても使うのは休日が多く、平日に使うことはあまり無い様に思えます。 昔に比べても、アイスホッケー、スケート人口が少なくなっていることも事実です。様々な要因があると思いますが、市民にとって使いやすく、また苫小牧のスポーツとしてさらに発展させていかななくてはならないと思います。
事務局	現在、体育協会で8年前から「スケートエンジョイスクール」を実施しており、内容としては約3ヶ月の期間で幼稚園からのこども対象に氷に慣れ、スケートの楽しさを覚えてもらい、継続してスケート競技を行ってもらえるような教室を実施しております。 この事業に関しては近年大好評で、定員300名をオーバーしてしまっている状況であり、スケート人気としては上向きになっている状況かと思います。
前田委員	中学校の状況ですが、ここ数年は市内14校の中でアイスホッケー合同チームを5つ作っています。
丸山会長	他にご質問はございますか。事務局から何かございませんか。
事務局	この調査結果につきましては、本市の運動・スポーツ活動の実態ということで、推進計画に反映してまいります。 また、アンケート調査につきましては、調査内容の精査を行いながら、定期的実施してまいりたいと考えております。
丸山会長	続いて、議事の(2)苫小牧市スポーツ推進計画の構成素案について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	スポーツ推進計画の構成素案についてご説明いたします。 <はじめに>から最後の<資料編>まで、推進計画の構成と、現段階で考えられる項目について示しておりますが、あくまでも素案でございますので、委員の皆様のご意見やアイデアを伺いながら加除修正を行ってまいります。 今回は、推進計画全体の流れとイメージを掴んでいただきたいと思いますと考えておりますので、宜しくお願いいたします。

では、お手元の資料3に沿って説明させていただきます。

先ず、冒頭の〈はじめに〉で「市長あいさつ」を掲載しまして、〈もくじ〉を経て、〈第1章〉の「計画の策定にあたって」の中で、計画の趣旨や位置づけ、期間、スポーツの定義、計画の理念について記載いたします。

計画の理念については、スポーツ都市宣言の理念であります「スポーツを愛しスポーツを通じて健康でたくましい心と体をつくり、豊かで明るい都市を築く」ことが基本理念となりますが、市民に広くこの理念が理解されますよう、他市の例として記載しているような簡潔でわかりやすいテーマを設けてはどうかと考えております。

〈第2章〉では「スポーツを取り巻く環境と課題」として、現代のスポーツを取り巻く環境や、今回のアンケート結果などを踏まえた本市の現状や課題について記載したいと考えています。

〈第3章〉では「計画の基本的な考え方」として、計画の目標とそれに沿った方針を記載してまいります。目標につきましては、スポーツ都市宣言に掲げる4つの目標といたしまして、計画の進捗状況の目安となるような目標値を設定できないか検討したいと考えております。

また、方針案につきましては、スポーツ都市宣言のそれぞれの目標をある程度広義に解釈しながら、現代のスポーツに求められている方向性について(方針ア)から(方針エ)までの8項目を示してございます。皆様のご意見を伺いながら精査してまいりたいと考えております。

〈第4章〉では「施策と主な事業展開」ということで、8項目の各方針案に対応するそれぞれの施策案を16項目示しており、それぞれの方針案を具体的にあらわした施策について、皆様のご意見を伺ってまいりたいと考えております。

また、主な事業展開といたしまして、それぞれの施策を効果的に進めて行くための事業展開について、主なものを記載する考えでございます。現在行っている事業の存廃や見直し、新規事業のアイデアなどご意見を伺いながら検討してまいりたいと考えております。

〈第5章〉では「計画の実現に向けて」行政や市民、教育機関、民間事業者等に期待するそれぞれの役割について示しますとともに、計画の進捗状況の管理や見直しの方法等について記載する考えでございます。

最後に〈資料編〉としまして、アンケート調査や審議会に関する事など、推進計画の策定に係る資料を添付いたします。

計画の大まかなフレームについては、ご説明しましたような構成をご提案させていただきますが、冒頭で申し上げましたとおり、皆様のご意見やアイデアをとりまとめながら加除修正を行ってまいりますので、何かご意見やご質問

	<p>などがございましたら今でも構いませんし、お持ち帰りになってからご一読いただきまして、次回の審議会までにご意見等をお寄せいただいても構いませんので、宜しくお願いいたします。</p> <p>平成27年度には4回の審議会を開催する予定ですが、来年の今頃には完成形に近い状態の計画案を作らなければなりませんので、あまり時間的な余裕もない中で作成になります。今回のように、大変恐縮ですが事務局で案を作成いたしまして、それに対するご意見をお求めする場面が多くなると思いますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>
丸山会長	<p>続いて、次第4の「その他」ですが、(1)平成27年度のスポーツ関連予算と主な事業について、事務局から説明をお願いいたします</p>
事務局	<p>新年度に実施いたしますスポーツ関連の予算と主な事業について、ご報告させていただきます。</p> <p>平成27年度のスポーツ関連の予算といたしましては、スポーツ大会の開催や遠征費等の補助金、スポーツ関連事業の経費など、スポーツの普及・振興に関する「スポーツ振興費」で、9千4百47万8千円、スポーツ施設の管理や改修・整備に関する「スポーツ施設費」として、14億4千3百53万6千円を計上しており、計15億3千8百1万4千円となります。</p> <p>一般会計予算全体が7百91億5千2百万円ですので、このうちの約1.9%がスポーツ関連の予算になります。</p> <p>次に、平成27年度から新たに行う主な事業をご紹介します。</p> <p>まず、スポーツ合宿等に対する新たな助成制度をスタートいたします。これは、本市でスポーツ合宿施設として運営しておりましたハイランドスポーツハウスとサイクリングターミナルの廃止にともないまして、これに代わる合宿誘致策として新しく行うもので、7百65万4千円の予算を計上しております。</p> <p>制度の基本的な内容としましては、市内の宿泊施設やスポーツ施設等を利用して合宿を行う団体に対して、1泊1人あたり1,000円、中央競技団体の場合は2,000円を補助するもので、合宿期間中に市内のスポーツ団体や地域住民等と交流を図ることを交付要件として、4月1日から制度の運用を開始いたします。</p> <p>また、緑ヶ丘野球場と緑ヶ丘公園庭球場の改修を行います。</p> <p>野球場の主な改修内容につきましては、グラウンドの両翼とセンター部分の拡張、バックスクリーンとスコアボードの更新、ダグアウトの更新と選手控室の増設、トイレの一部を洋式化するといった内容で、5億1千万円を予算計上しております。また、28年度には別途予算化して照明設備の設置を行う予定です。</p>

	<p>ございます。</p> <p>庭球場につきましては、クレイコート12面の内、6面を全天候型のコートに改修し、コート周りにフェンスを設置します。トイレや休憩棟の屋根も併せて改修する予定で、1億6千4百95万4千円を予算計上しております。クレイコートの残り6面につきましては、28年度に予算化し改修する予定でございます。</p> <p>また、全天候型に改修しました陸上競技場につきましては、昨年のマラソン大会においてトラックとフィールド部分を開放し使用いたしましたが、管理棟も完成しましたことから5月3日（日）に行われる陸上競技大会の開催に合わせてオープンセレモニーを行う予定でございます。</p> <p>以上、新年度予算及び主な事業についての報告とさせていただきます。</p>
須藤委員	<p>前年よりも改修の予算が1億8千万円少ないが、なぜでしょうか。</p>
事務局	<p>前年は新ときわスケートセンター新設、陸上競技場の改修でございましたが、この部分での差異が出ている状況でございます。</p>
齋野委員	<p>旧ときわスケートセンターは今後も継続していくのか。</p> <p>観光協会の立場としても、合宿誘致の点から、4つのリンクは強みになります。合宿補助制度も新年度から整いますし、継続して利用できるように運営してほしい。</p>
事務局	<p>現在、旧ときわスケートセンターの利用も好調ですので、施設が利用できる間は使っていきたいと思えます。</p>
島崎委員	<p>現在、子どもの体力低下への問題点からも、小学生、中学生などにも広げた施策が必要になってくると思えます。</p> <p>また、今後の審議会についてはもう少し早めに会議資料をいただけると、意見を持って会議にのぞむ事ができるのでお願いしたい。</p>
事務局	<p>事務局としても子どもの体力低下への問題点は認識しており、子どもがスポーツに親しむための機会を増やすということも今後の推進計画に盛り込んで行く予定となっております。</p> <p>会議資料の事前配布については、今後できるよう検討してまいります。</p>

丸山会長	<p>他にご質問等はございますか。</p> <p>無いようでしたら、これで終了させていただきます。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しいたします。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>丸山会長、ありがとうございました。</p> <p>次回の審議会は6月を予定しております。詳細につきましては、あらためてご連絡させていただきますので、宜しくお願いいたします。</p> <p>それでは、これをもちまして「第2回 苫小牧市スポーツ推進審議会」を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>